

佐賀西高だより

URL <https://www.education.saga.jp/hp/saganishikoukou/>

学校だより第135号
令和7年7月4日
佐賀西高等学校
佐賀市城内一丁目4番25号
電話番号(0952)24-4331
発行・編集 広報研修部

高校総体校旗推戴式、高校野球・吹奏楽・合唱壮行会



総体校旗推戴式



高校野球壮行会



吹奏楽・合唱壮行会

5月30日(金)から6月4日(木)まで令和7年度佐賀県高等学校総合体育大会が行われました。それに先立ち、5月28日(水)に本校体育館において校旗推戴式を行い、選手を激励しました。運動部の部員だけでなく、全校生徒が一丸となって試合に臨むのだという熱い気持ち伝わる、素晴らしい壮行式となりました。総体に出場した選手たちは、会場での多くの応援を糧に全力を尽くすことができました。勝利して喜ぶ顔、負けた悔しさで涙を堪える姿、各会場で様々なドラマが繰り広げられましたが、一生懸命に勝負に挑む選手たちの姿は感動そのものでした。

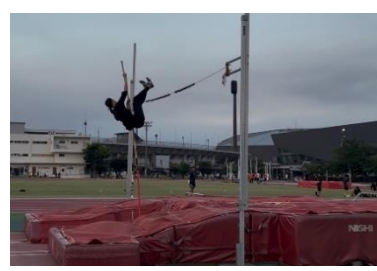
6月30日(月)には、今月行われる全国高校野球選手権佐賀大会・佐賀県吹奏楽大会・九州合唱コンクール佐賀県予選の壮行会を行いました。

高校総体上位入賞一覧

テニス	女子シングルス	第2位	田代 祐乃	インターハイ出場
	女子団体	第3位	田代 祐乃 植木 美有 鈴木 歩果 瓜生 桃子 瓜生 桜子	
	男子団体	第3位	飯盛 勇斗 山口 千尋 南 雄大 小林 真 田畠 玄太郎	
	男子ダブルス	第3位	飯盛 勇斗 山口 千尋	
水泳	女子400m個人メドレー	第2位	荒金 友里菜	九州大会出場
	女子200m個人メドレー	第3位	荒金 友里菜	九州大会出場
	男子200m平泳ぎ	第3位	鎌上 千聖	九州大会出場
	男子4×100mフリーリレー	第3位	牧瀬 尊郁 辻 大翔 井芹 慧大 鎌上 千聖	九州大会出場
	男子4×100mメドレーリレー	第3位	牧瀬 尊郁 辻 大翔	九州大会出場

			井芹 慧大 内野 正太郎	
	女子4×100mフリーリレー		田中 彩陽 林 茉里奈 坂西 すみれ 荒金 友里菜	九州大会出場
	男子50m自由形	九州大会参加 標準記録突破	牧瀬 尊郁	九州大会出場
	男子100m自由形		牧瀬 尊郁	九州大会出場
	男子100m平泳ぎ		鎌上 千聖 内野 正太郎	九州大会出場
	男子200m平泳ぎ		内野 正太郎	九州大会出場
	男子100m背泳ぎ		辻 大翔	九州大会出場
	男子総合	第3位		
空手道	女子個人組手	第3位	久保田 亜依迦	九州大会出場
	女子個人組手	第5位	加々良 優美	九州大会出場
陸上	女子棒高跳	第1位	江越 ひかる	九州大会北九州地区予選会出場
	男子走高跳	第1位	野田 義洋	九州大会北九州地区予選会出場
	男子棒高跳	第2位	山田 叶	九州大会北九州地区予選会出場
	女子砲丸投	第3位	加固 暁野	九州大会北九州地区予選会出場
	女子走幅跳	第5位	才川 陽海	九州大会北九州地区予選会出場
ラグビー	男子(鳥栖工業・致遠館と合同チーム)	第3位		

高校総体ギャラリー





インターハイ・九州総体出場者より

インターハイや九州総体・北九州地区予選会に進んだ生徒（複数出場の場合は男女各1名）のコメントです。

○インターハイ

田代 祐乃(テニス部)

「みんなで咲かせた花」

「響けよ 僕らの声よ 大切なのは諦めないこと 今君だけにできるかたちで 大きな花を 咲かせてやれ」この歌とともに、私たちの総体が始まりました。毎日、ひたすらに走りまわって、ボールを打って、チームのみんなで切磋琢磨しながら汗を流し、みんなで励ましあいながら日々テニスに打ち込みました。きつい練習と一緒に頑張った時間も、休憩でくだらない話をして笑った時間もどんな時間も私にとって最高の宝物です。そんな最高の仲間と挑んだ総体は苦しい場面も多かったのですが、そんな時に支えてくれたのがチームのみんなの応援でした。みんな、ありがとう。2年間顧問をして下さった浜崎先生、色んな遠征に連れて行って下さった生田先生、渡島先生、ありがとうございました。たくさんの人たちに感謝の気持ちを込めて、インターハイを精一杯自分らしく戦いたいです。

○九州総体

久保田 亜依迦(空手部)

「自慢のスピードを活かし、九州の舞台へ」

私はこの一年、キャプテンとしてチームを引っ張ってきました。私は高校以前より空手をしていたのですが、部員の多くは未経験者ばかりで練習がうまくいかないことも多くありました。しかしそんな中でもみんなで協力しながら高めあっていたことは、私にとって大きな力となりました。県総体当日は、後輩からの励ましや手助け、お守りもあって緊張せずに試合に臨むことができました。また、試合内容としても自分の武器であるスピードを活かしたプレーができ、とても楽しかったです。九州総体は高校最後の大きな大会です。私を笑顔にさせてくれる人、一緒に練習を頑張ってくれる人、誰に見られても後悔のない試合をしたいと思います。

牧瀬 尊郁(水泳部)

「チームの大切さ」

5月31、6月1日に行われた佐賀県高校総体で50m自由形、100m自由形で全九州高校総体の参加標準タイムを突破しました。また、同じ水泳部の部員の頑張りそして応援のおかげで、4×100mフリーリレー、4×100mメドレーリレーの参加標準タイムも突破することができました。1年間私は部長として、水泳部の活動にたくさん参加させていただきました。部活では、SAGA AQUA での水中トレーニングだけでなく、陸上トレーニングやストレッチなども精一杯やってきました。その中で、部員が楽しみながらも、一生懸命に活動してくれました。その姿に刺激を受けて、自分も頑張ろうと思い、努力することができました。その部員たち全員の頑張りのおかげで、男子総合3位も取ることができたと思っています。ありがとうございました。チームで頑張ることの楽しさを感じることもできました。7月18日から4日間、宮崎県で全九州高校総体の水泳競技が行われます。個人では、ベストタイムを出すことを目標にできることを精一杯頑張ります。リレーでは、部員のみんなと力を合わせて、それぞれがベストを尽くして頑張ります。応援よろしくお願いします。

荒金友里菜(水泳部)

「気持ちをバネに」

今年の舞台は、新しくできた宮崎県のプール！私は200m、400m 個人メドレー、4×100m フリーリレーに出場します。今の時点でわくわくが止まりません。しかし、県総体の結果は悔しいものばかりだったため、多少の不安もあります。県総体2日目、自分の泳いでいる時の感覚と、電光掲示板に表示されたタイムには大きな差がありました。悔しさと悲しさでいっぱいでしたが、30分後にはメドレーリレーが迫っていました。4人でつなぐリレーで迷惑なんてかけられない、頑張らなきゃと気を引き締めました。でも、どこか引きずっていて暗い心があり、体のカミに繋がってしまいました。結果としてあと0.3秒、標準タイムに届きませんでした。だからこそ、九高では自分の泳ぎとタイムに自信が持てるようなレースがしたい。メドレーリレーの悔しさは、4人でフリーリレーに、ぶつけて必ず記録を上げたい。残り1か月弱、自分を奮い立たせて最大限の努力を積み重ねます。

野田義洋(陸上部)

「好きこそものの上手なれ」

小学6年生の時に出会った走高跳は始めた頃から今までの間、嫌いになったことは一度もなく、人一倍、基礎練習を積んだり、上手な人の動きを真似したり、関わる筋肉について調べたり、いつも走高跳のことを考えていました。体一つで高く跳ぶだけですが、とてつもない奥深さにより惹きつけられていきました。そして、この間の北九州大会で高校での陸上がついに終わりました。今思えば、終始緊張していて自分の理想とする跳躍をすることができなかった上、周りの雰囲気圧倒されて気持ちですら負けていた気がします。まだうまくできたのではという練習や試合への後悔、次の大会へ進めなかった悔しさから、悔いなく終わることの難しさを感じました。いよいよ受験勉強が始まります。気持ちを切り替えて、部活動で培った好きなものに本気になる姿勢で勉強に全力で取り組んでいきたいです。

江越 ひかる(陸上部)

「あの舞台の景色」

県総体で自己ベストを30cm更新し、2連覇を達成できたのは、応援してくださった方々や陸上部の仲間、そして先生方のおかげだと心から感じています。ありがとうございました。北部九州総体では自己ベストを跳ぶことができず、満足のいく結果は残せませんでした。試合から2週間経ち、今になって、跳べなかった現実や、インターハイに行けないこと、そしてあれが最後の跳躍だったことの重みを実感しています。それでも、今までの選択と行動には悔いはありませんし、インターハイを本気で目指せるところまで来られたことに、大きな意味があると感じています。小学5年生から陸上を始め、他校・他県の仲間に支えられながら、佐賀西の4人と佐賀西のユニフォームで北部九州総体の舞台に立てたことは、自分にとって本当に特別で、大切な経験でした。インターハイに行けなかった分、エネルギーが余っているので、これからはそれをすべて勉強に費やそうと思います。

*今号は西高だよりの取材・撮影・編集を1・2年生有志が協力してくれました。
*本校HPに行事の写真や年間行事予定を掲載しています。

